

幹事団からの二つのご提案・お願い

何人も一島嶼にては非ず

【まえがき】

イングリット・バーグマンの「キスをするのに鼻が邪魔にならないかしら？」というセリフにわけもなくドキドキした・・・あの映画は「誰がために鐘は鳴る」ですが、ヘミングウェイによる原作の扉の言葉がこれでした。「人は島（孤独な存在）ではない、人間社会という大陸につながっているのだから・・・」と続く詩の一節だとか。

そろそろ人生というトラックを一周してラストランに入る年齢になりました。ラストランを明るく楽しむためには、なんといっても「人との交流」が一つの大切な条件になるのではないのでしょうか。

皆さまそれぞれにこれまでの人生のいろいろな場面で得た人とのつながりを「財産」としてお持ちのことと思いますが、「財産」である以上、人とのつながりもできれば多い方がいいでしょう。考えたくはありませんが、これからは、自然に、少なくなっていくのですから。

いままで同期会に縁遠かったあなた、以前は出席していたのにいろいろ忙しくて足が遠のいてしまったあなた、今年こそ、「同期会デビュー」、いかがですか？

・・・というわけで 2011 年幹事会から、二つの提案というか、お願い。

同期会への出欠とあわせ別紙に記入いただき、4月3日までに返信用封筒で返送ください。

【提案その1：同期会名簿について】

会員相互に利用できるよう名簿を配布したいと思います。いかがでしょうか？

同期会は年一回ですが、随時、声をかけあって春のお花見から忘年会まで、また、気の合う人どうしのローカルな呼びかけにも役立てられるようにしてはどうかということです。

同期生は最大でも五百名までゆかないので個人情報保護法の対象にはなりません、法の趣旨を尊重し、今回、皆さまお一人お一人の同意をとり直すことにします。

【提案その2：次回の幹事について】

同期会を長続きさせるために、特定の人に負担をかけないようにしたいと思います。

いままでは忙しくて幹事を引き受けることができなかつたけれど、そろそろ引き受けてもいいよと言う方、手を上げてください。しばらく幹事をやっていないという方も、どうぞお願いいたします。「彼（または彼女）といっしょなら、やろうかな」というのも「あり」です。アレンジしてみます。

幹事もなかなかどうして楽しいものです。企画を話し合う、現地調査する、詳細を決める、同期会の当日（これは忙しくて、あまり楽しめませんが）、反省と引継ぎなど、4回から5回は顔を合わせる楽しみがありますよ。

(文責：古山)